

kintone

kintone活用の為の データ基盤整備とは



01. kintone 活用におけるデータ基盤の課題
02. データ連携基盤を活用したDX実現のポイント
03. kintone活用の為のデータ基盤整備
04. Appendix ノーコード型ETLサービスReckonerとは

01

kintone 活用におけるデータ基盤の課題



■ kintoneに一元的にデータを集積・管理が可能

- Microsoft Officeのデータはもちろん、さまざまなシステムでバラバラに管理されていたデータや紙資料まで、kintoneなら一括管理できるようになります。

■ アプリを簡単に作成して、さまざまな業務に活用することが可能

- 顧客情報から受注の確度や金額、活動履歴までを記録できる案件管理など業務内容に合わせて簡単にアプリの作成が可能

■ カスタマイズ性が高く他社のサービスと連携する方法、プラグイン追加が可能

- プラグインの導入などを通じて経費精算、会計、請求管理などの機能を追加する事も可能



外部システムやアプリ同士の連携が手間になる

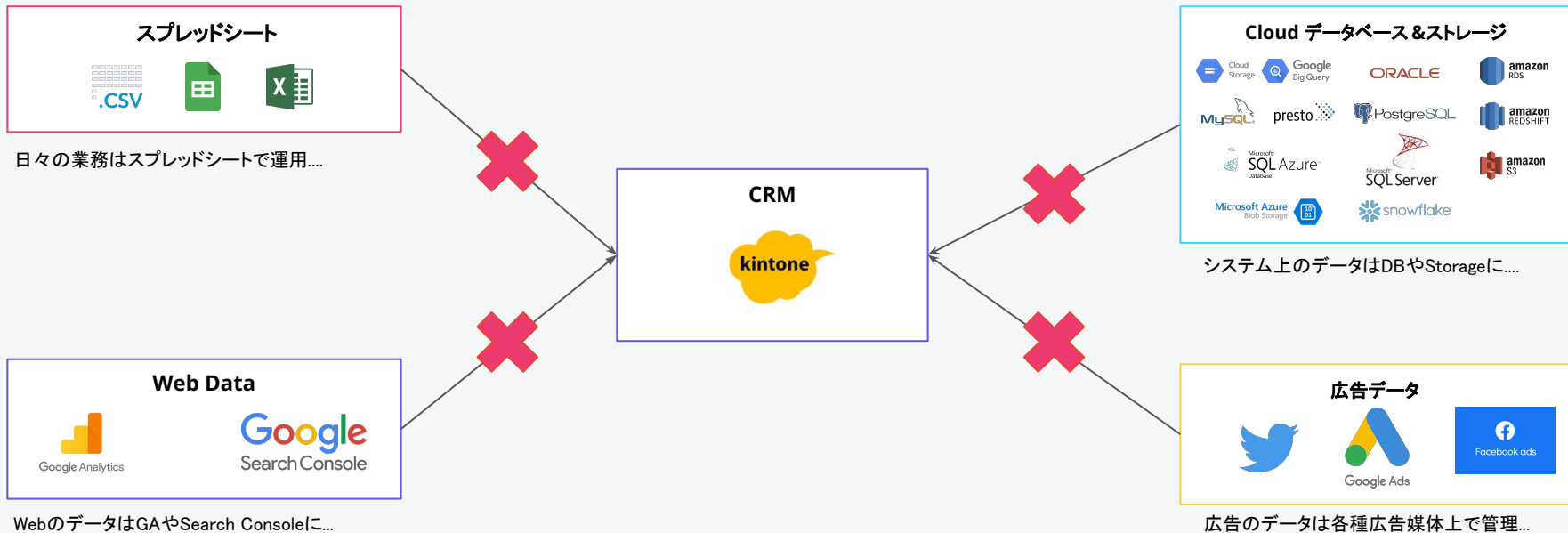


レガシーシステムとkintoneのデータ連携が足かせとなる

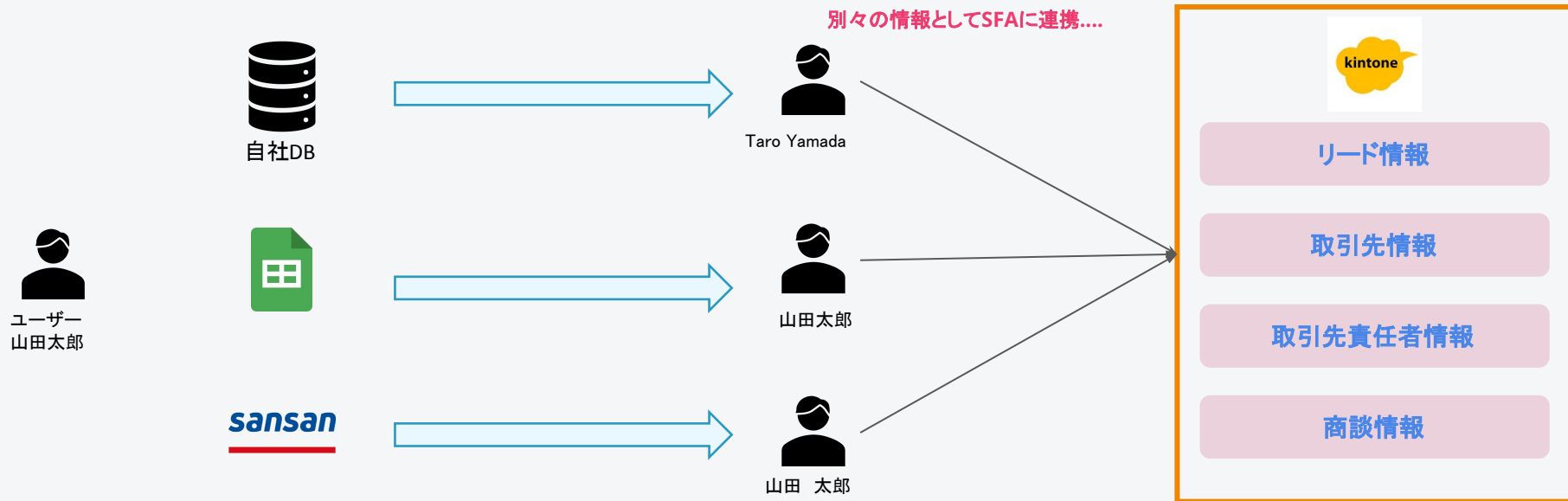


データ蓄積するためにも加工 / 名寄せ / データクレンジングをしなければならない

データのサイロ化とレガシーシステムの連携の壁



営業のデータはCRMとしてkintoneに蓄積する事が可能だが、「システム」上のデータや「Web / 広告データ」とは連携できていない為、結果的に多角的な分析が出来ない状況に。更にレガシーシステムを利用している場合はそのコストも膨大となる。その他、日々の運用はスプレッドシートで運用しているようなケースではSFAへのデータ取り込みなども大きな課題となる。



単なる「データ連携」のみでは不要データの削除や名寄せ、データクレンジング等が行われない為、別々の情報として扱われる可能性がある。

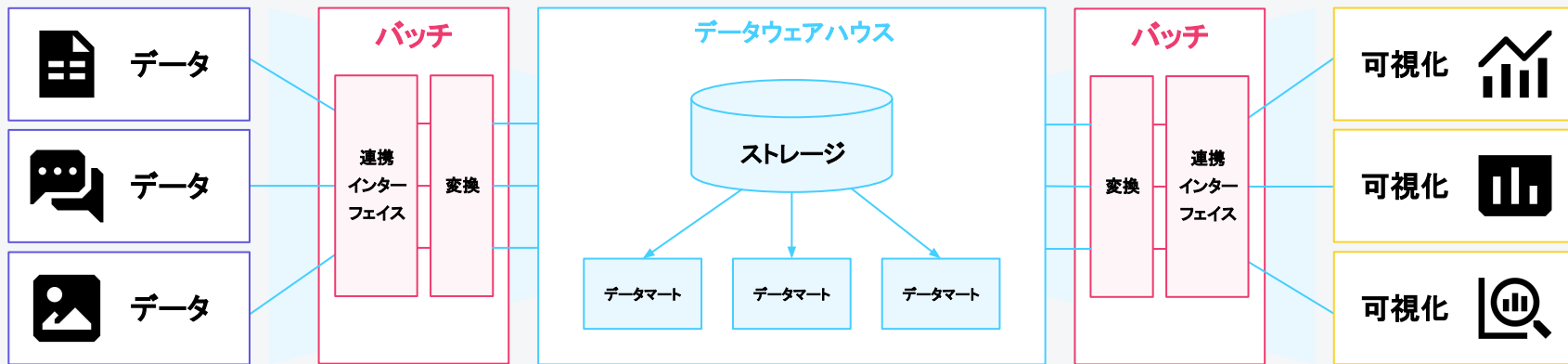
データ蓄積が十分にされていたとしてもこういった処理を適切に行わないと結果的に「価値のないデータ活用」となってしまう可能性が高い。

02

データ連携基盤を活用した DX実現のポイント



通常、データ連携を実施するためには多くのコストが必要。連携間のバッチ処理の実装コスト、実装した処理のパフォーマンス・情報漏洩を防ぐセキュリティ性の担保。さらに各実装が実装したエンジニアに属人化しがち。

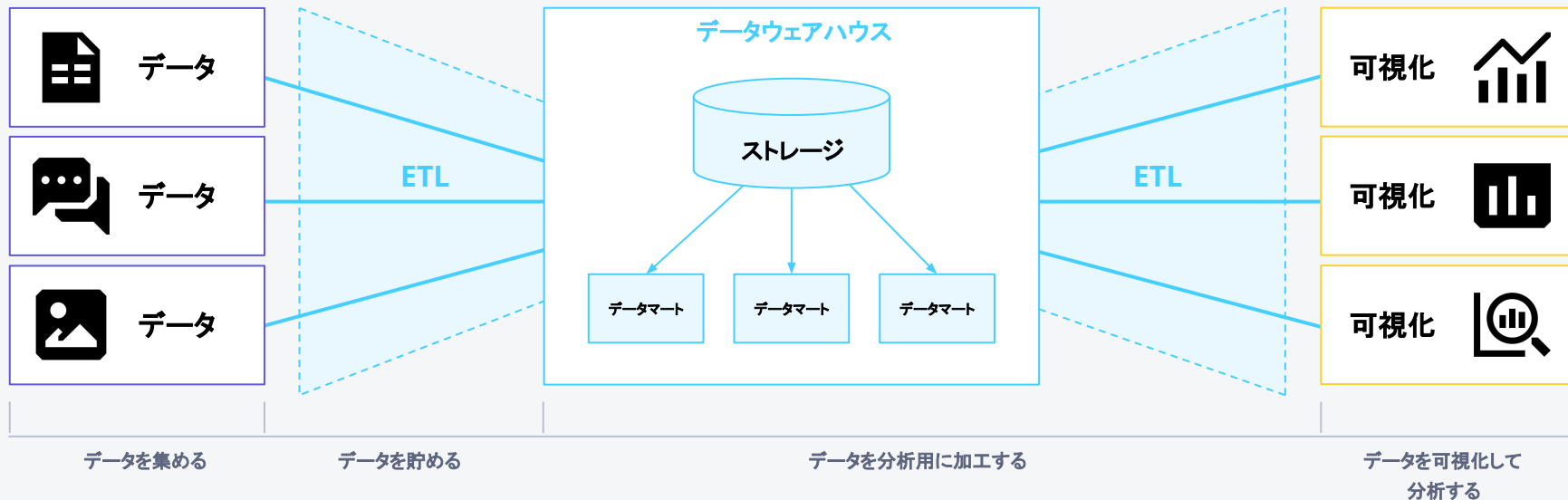


データの流れや、処理の中身が実装したエンジニアに属人化

- ▶非エンジニア部門ではデータの流れがわからない
- ▶DataとOps(業務)が離れてしまう

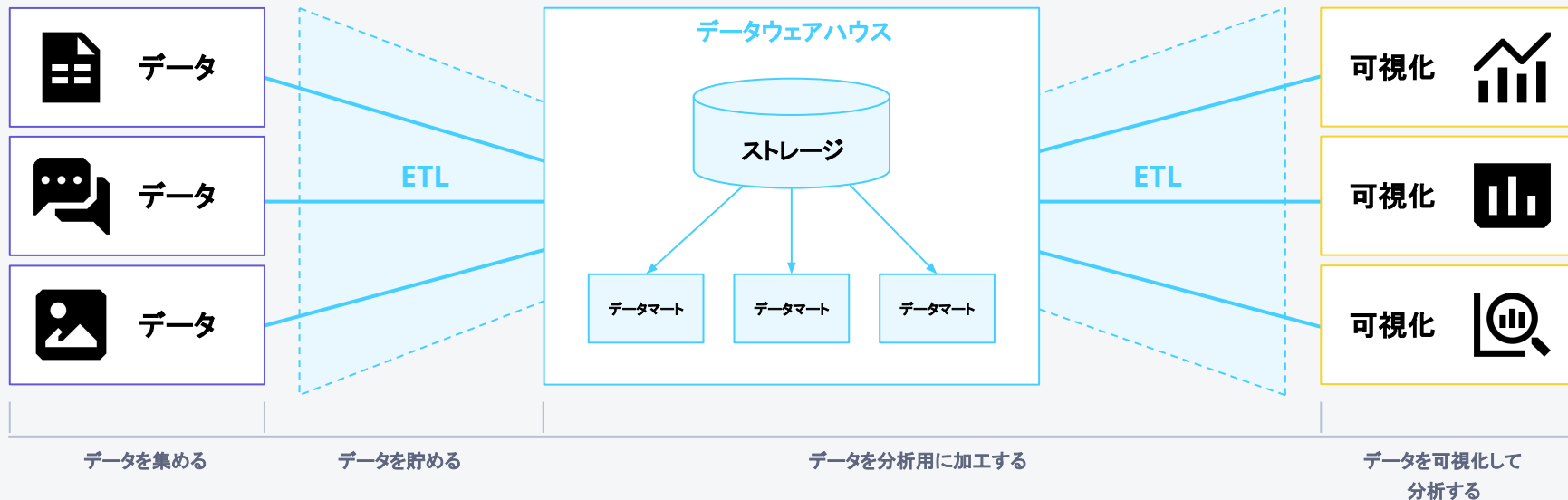
① 再現性(誰でも触れるか、PDCAしやすいか)

データをエンジニアだけが見えるモノではなく、非エンジニア(セールス・マーケティング・業務など)部門に対しても、データの連携・流れの見える化を行い、共通言語で話せるように**データの民主化**を行う必要有。そうすることで再現性が高く属人化させずにPDCAを回すことが可能。



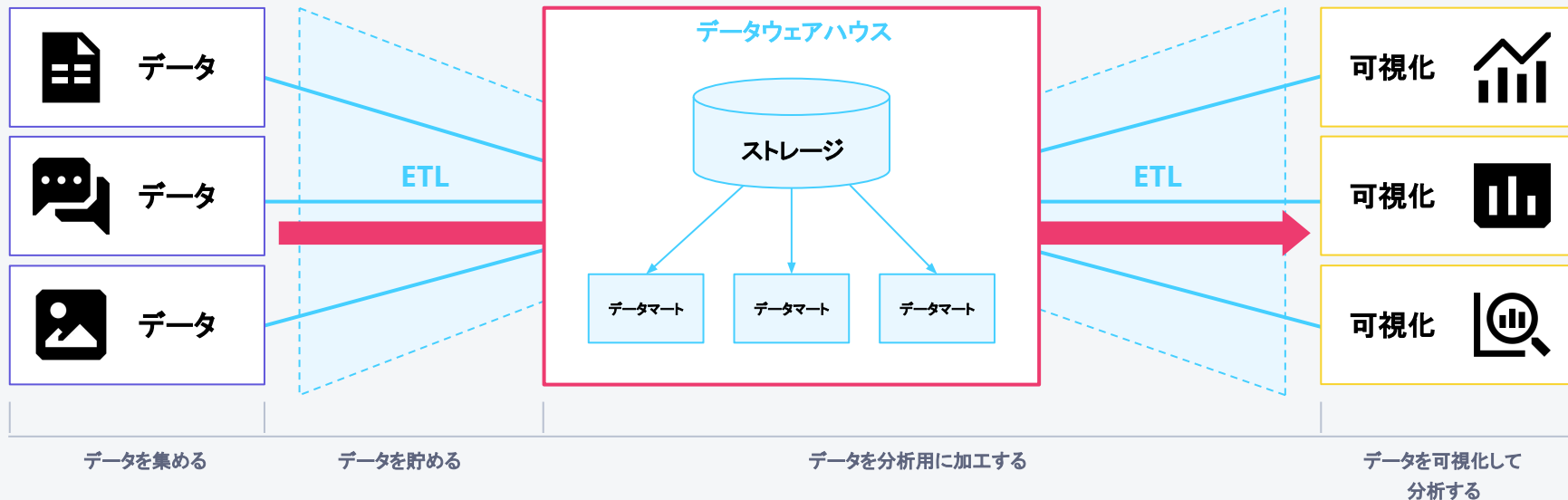
② データ基盤構築コスト(設計/開発・構築/保守)が低い

データソース⇒DWHへ、DWH⇒ツール・DBへデータ連携をする際に、連携ごとに個別のバッチを作成すると、設計/開発コストが高い。また、仕様やバージョン変更の際に再構築/保守のコストが発生。更に、設計/開発そして再構築/保守において低コストでデータ基盤を構築するインフラレイヤーの課題も浮き彫りに。



③ セキュリティとパフォーマンスの管理

データ連携の際に、処理に時間がかかってしまい、パフォーマンスが低ければ業務効率化の支障に。また、DWHのセキュリティをどれだけ強固にしてもデータ連携間で情報漏洩してはサービス/事業存続の危機に。データ連携間でのパフォーマンス・連携するデータ安全に連携するセキュリティが不可欠。



- 1 **再現性**(誰でも触れるか、PDCALしやすいか)
- 2 **データ基盤構築コスト**(設計/開発・構築/保守)が高い
- 3 **セキュリティとパフォーマンスの管理**

この3つを備えたデータ活用環境を整えること(クラウド型ETL導入)が重要！

03

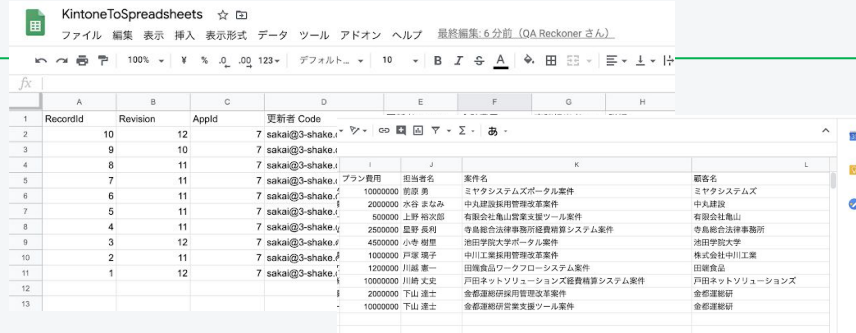
kintone活用の為のデータ基盤整備



ワークフロー①: kintoneの案件情報をスプレッドシートへ連携

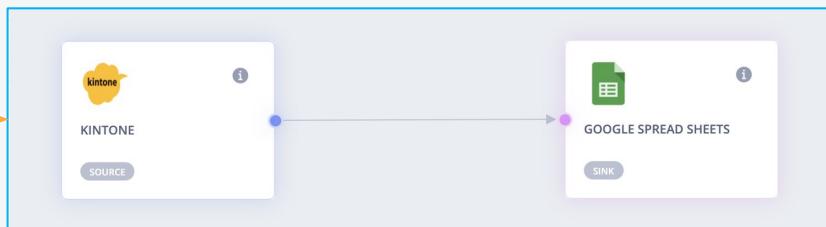


顧客名	案件名	進捗	発注予定日	プラン費用	担当担当者
ミヤタシステムズ	ミヤタシステムズポータル案件	60%	Mar 31, 2018	10,000,000	saka@3-shake.com
中丸建設	中丸建設採用管理システム案件	20%	Aug 24, 2018	2,000,000	saka@3-shake.com
有限会社山	有限会社山作業支援ツール案件	100%	Jun 30, 2018	500,000	kubota
寺島総合法律事務所	寺島総合法律事務所経費精算システム案件	80%	Jul 31, 2018	2,500,000	kubota
池田学院大学	池田学院大学ポータル案件	40%	Mar 31, 2018	4,000,000	kubota
株式会社中川工業	中川工業採用管理システム案件	20%	Aug 24, 2018	1,000,000	tsujimoto



Recordid	Revision	Applid	更新者	Code	プラン費用	担当者名	案件名	顧客名
7	10	12	saka@3-shake.com		10000000	前原 勇	ミヤタシステムズポータル案件	ミヤタシステムズ
7	9	10	saka@3-shake.com		2000000	水谷 まなみ	中丸建設採用管理システム案件	中丸建設
7	8	11	saka@3-shake.com		500000	上野 拓次郎	有限会社山作業支援ツール案件	有限会社山
7	5	11	saka@3-shake.com		2500000	星野 長利	寺島総合法律事務所経費精算システム案件	寺島総合法律事務所
7	4	11	saka@3-shake.com		4500000	小寺 創志	池田学院大学ポータル案件	池田学院大学
7	3	12	saka@3-shake.com		1000000	戸塚 鏡一	中川工業採用管理システム案件	株式会社中川工業
7	2	11	saka@3-shake.com		1200000	川越 寛一	田産食品ワークフローシステム案件	田産食品
7	1	12	saka@3-shake.com		10000000	川崎 文史	戸田ネットソリューションズ経費精算システム案件	戸田ネットソリューションズ
7					2000000	下山 達士	金都建設採用管理システム案件	金都建設
7					10000000	下山 達士	金都建設採用管理システム案件	金都建設

データを
受け渡し

 Reckoner

データ反映

ワークフロー②: スプレッドシートで変更した情報をkintoneに反映

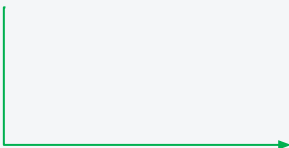


I	J	K	L
プラン費用	担当者名	案件名	顧客名
1000000	前原 勇	ミヤタシステムズポータル案件_同期テスト	ミヤタシステムズ
2000000	水谷 まなみ	中丸建設採用管理改革案件	中丸建設
500000	上野 裕次郎	有限会社亀山営業支援ツール案件_同期テスト	有限会社亀山
2500000	星野 長利	寺島総合法律事務所経費精算システム案件	寺島総合法律事務所
4500000	小寺 樹里	池田学院大学ポータル案件	池田学院大学
1000000	戸塚 璃子	中川工業採用管理改革案件	株式会社中川工業
1200000	川越 憲一	田端食品ワークフローシステム案件	田端食品
10000000	川崎 丈史	戸田ネットソリューションズ経費精算システム案件	戸田ネットソリューションズ
2000000	下山 達士	金都運総研採用管理改革案件_同期テスト	金都運総研
10000000	下山 達士	金都運総研営業支援ツール案件	金都運総研

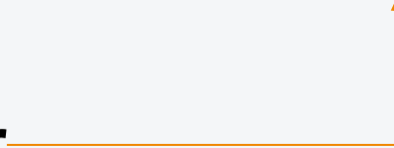


顧客名	案件名
■ ミヤタシステムズ	ミヤタシステムズポータル案件_同期テスト
■ 中丸建設	中丸建設採用管理改革案件
■ 有限会社亀山	有限会社亀山営業支援ツール案件_同期テスト
■ 寺島総合法律事務所	寺島総合法律事務所経費精算システム案件
■ 池田学院大学	池田学院大学ポータル案件
■ 株式会社中川工業	中川工業採用管理改革案件
■ 田端食品	田端食品ワークフローシステム案件
■ 戸田ネットソリューションズ	戸田ネットソリューションズ経費精算システム案件
■ 金都運総研	金都運総研採用管理改革案件_同期テスト
■ 金都運総研	金都運総研営業支援ツール案件

変更データを
受け渡し



Reckoner



変更された
データを反映

Reckonerの機能でkintoneにデータを連携

営業活動の効率化

課題: 営業結果をkintoneに反映するのに時間や手間がかかる。Excel、スプレッドシートの操作に慣れているため、クラウド活用に抵抗がある。

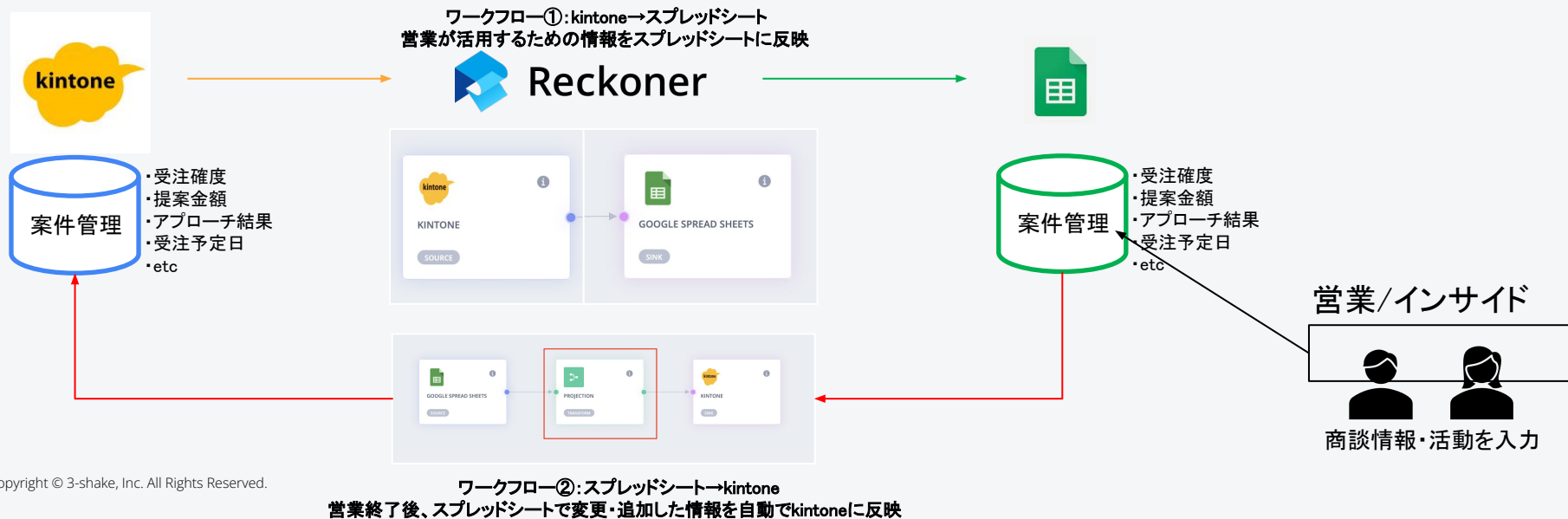
解決: kintoneとスプレッドシートを連携。営業/インサイドセールスはスプレッドシートに情報を記載。

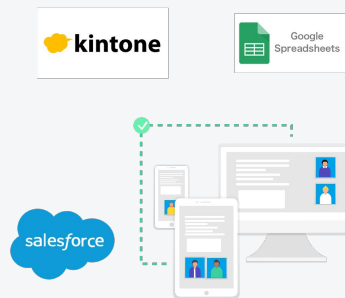
営業終了後、スプレッドシートの情報をReckonerを利用して、kintoneに反映させデータを最新版に変更させる。

結果: 操作に慣れているスプレッドシートを活用することで営業のストレスがなくなり、スムーズに営業活動の効率化UPに繋がった。

また自動でkintoneに営業情報が反映されるため、データが常に最新版となり、精度の高いレポートが確認できるようになった。

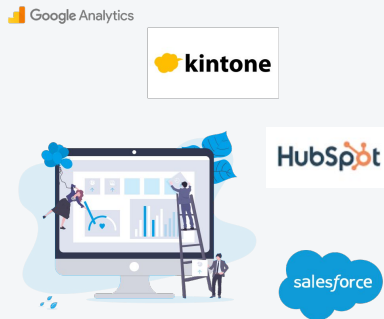
ポイント: kintoneについては自動でデータを戻す機能がないため、Reckonerを利用することで解決。





情報共有コストの削減

事業KPIや顧客データなどを自動で共有することによって組織内の情報共有を円滑に



課題の発見及び戦略の立案

日々の施策の効果や、顧客行動を分析することで、データドリブな施策の立案が可能



施策の費用対効果の向上

ターゲティング精度向上によるマーケティング・セールス施策の費用対効果の最大化

04

Appendix

滑らかなデータ基盤を実現する
クラウドETLサービス Reckonerとは



クラウド型ETLサービスの決定版

データ連携作業の工数を大幅削減

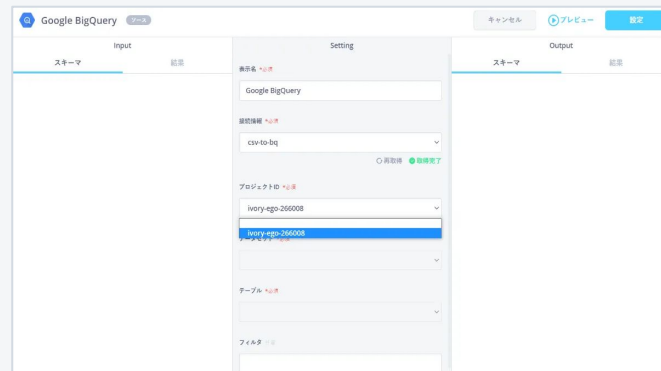
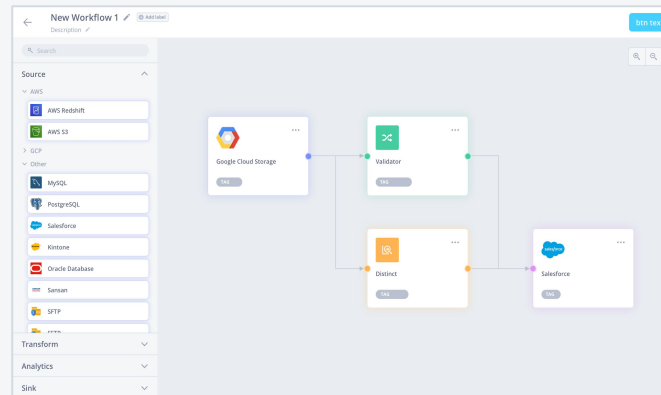
Reckonerはクラウド型ETL/データパイプラインサービス

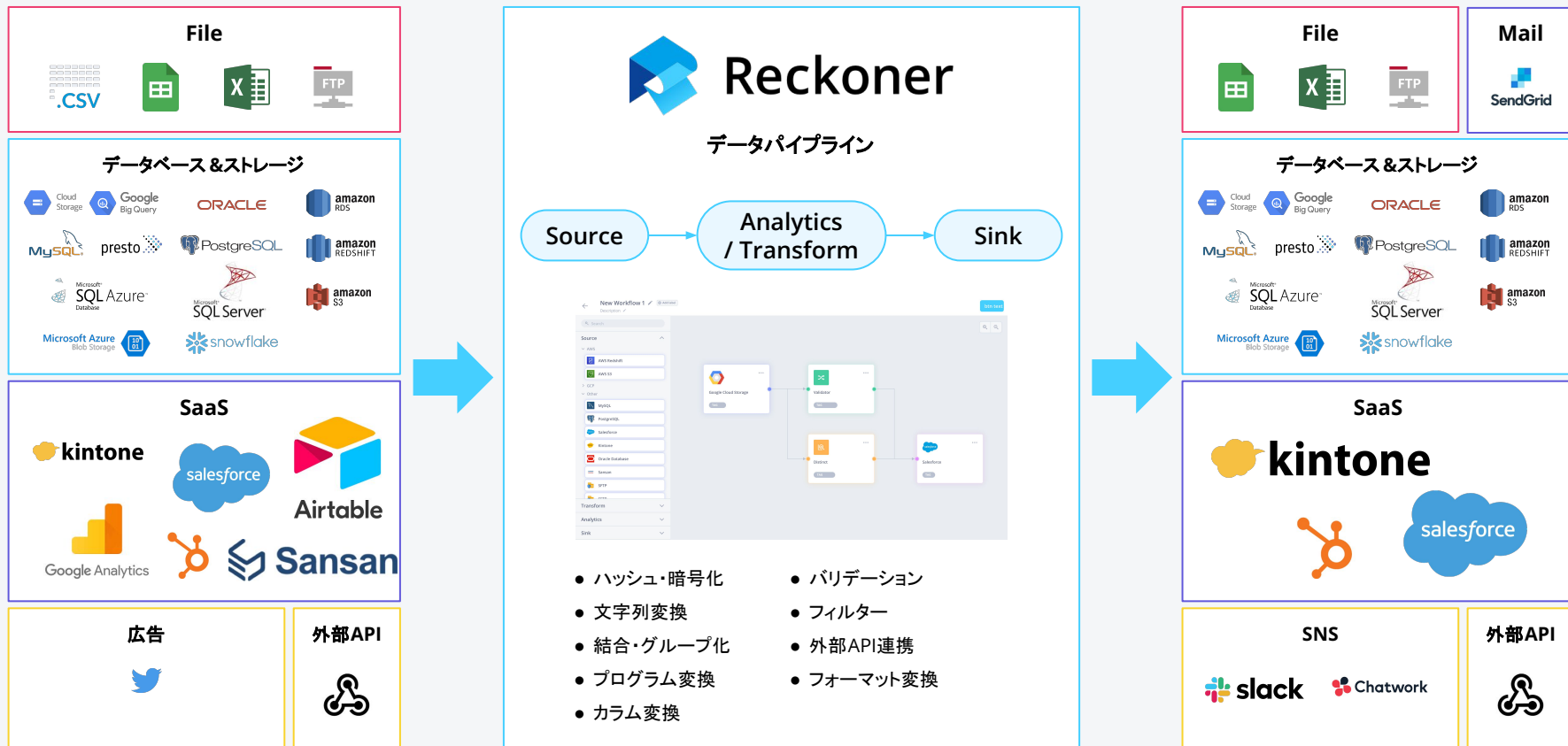
とことん使いやすさを追求

「仕様策定(プログラム設計)→実装→テスト→基盤構築→運用」と通常だと

非常に煩雑なデータ連携を、Reckonerは全てGUIで完結。

データ活用をこれまでにない直感的な方法で実現可能。





データソース

データマネジメント / 統合

データウェアハウス /
データマート / 機械学習

可視化

① 再現性(誰でも触れるかPDCAしやすいか)

▶ 非エンジニアでも一目でデータの流れるわかるUI

② データ基盤構築コスト(設計/開発・構築/保守)が低い

▶ バッチ処理など一切のプログラム不要！

③ セキュリティとパフォーマンスの管理

▶ SREのプロフェッショナルであるスリーシェイクが提供

▶ 快適に運用できるパフォーマンス性と高いセキュリティを実現

Reckonerはこの3つを備え、データ統合/活用に必要な環境を実現

Point
1

ノーコード

Point
2

豊富な連携先

Point
3

直感的に
操作可能なUI

Point
4

プレビュー機能

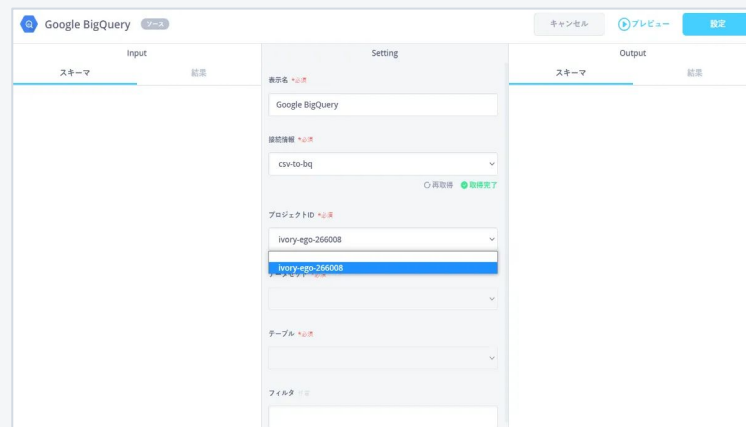
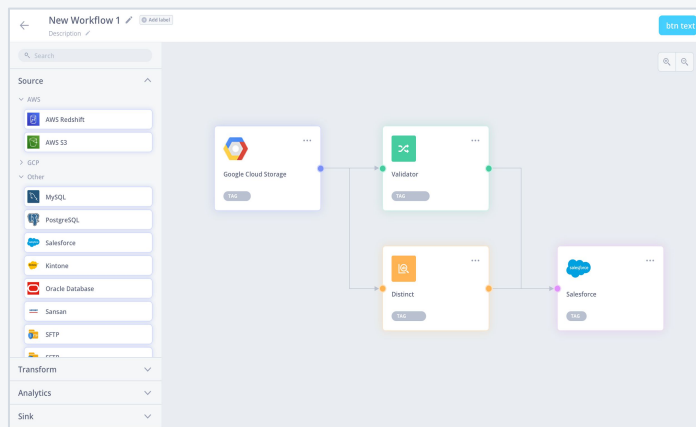
Point
5

安全なインフラ
セキュリティ



通常データ連携では、バッチの制作が必要。

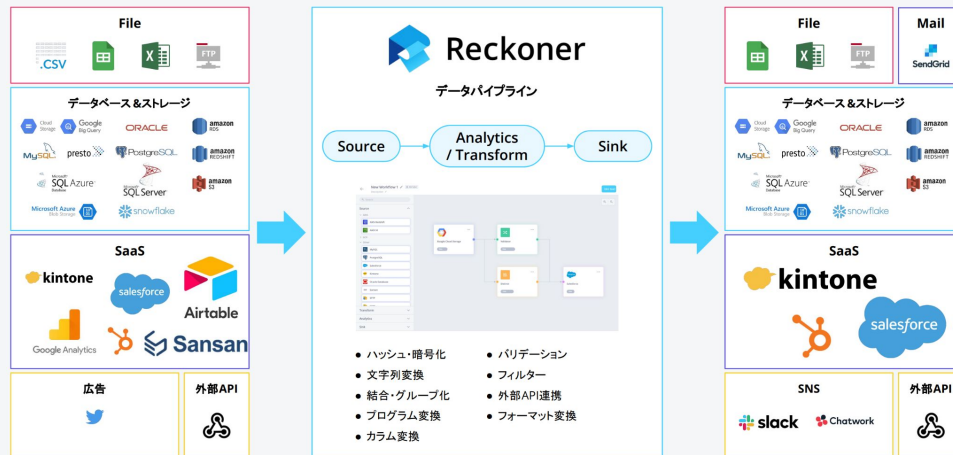
しかしReckonerなら、**一切のプログラムは不要。**
ワークフローの作成というシンプルなステップのみで実装可能。



多数のデータベースや SaaSアプリケーションと接続可能

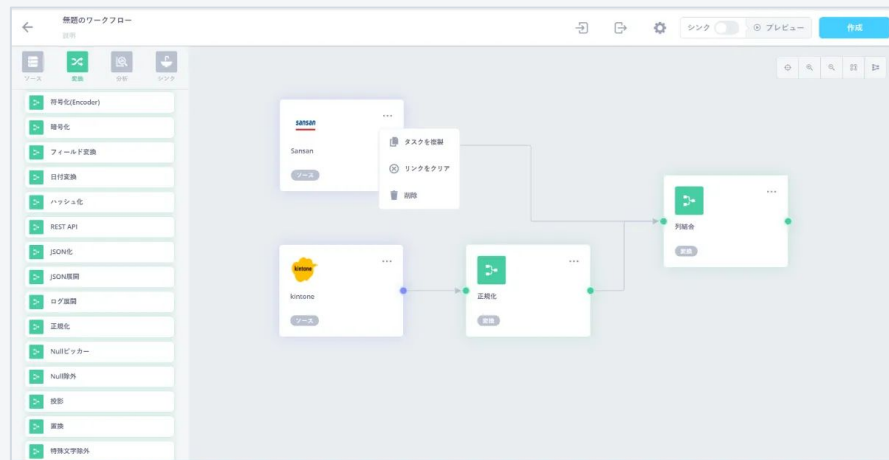
広告・SFA/MA・CRMなどなど、あらゆるデータソースと連携し、必要なデータの分析・活用が可能。

Reckonerは引き続き、さらに多くのデータソースとの連携を実施予定。



初期の設定～デプロイまで、 全ての操作が驚くほど直感的に設計

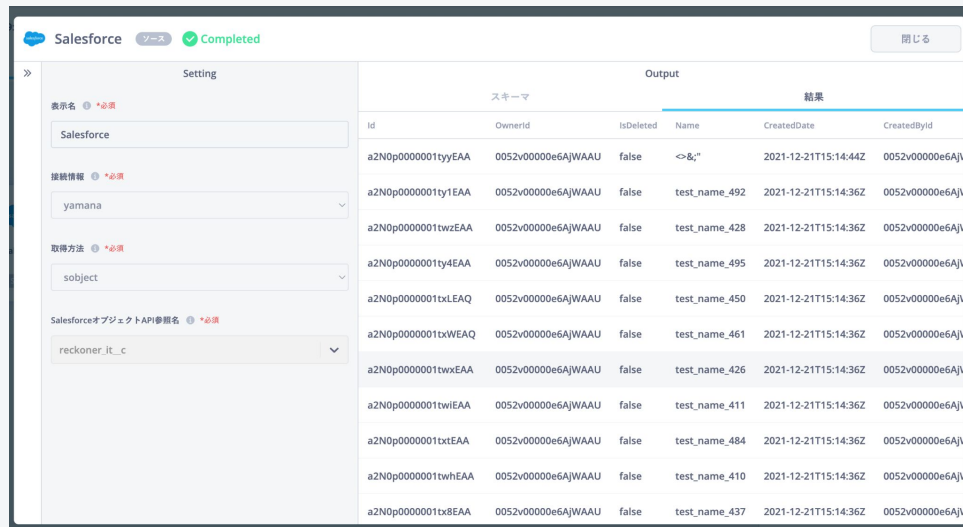
複数データソースからのデータ連携や、リアルデータでのプレビューなど、データ連携のかゆいところまで考慮され、非エンジニアでも扱いやすい設計



リアルデータで変換や結合の プレビューが可能

通常の実データ解析では、想定通りのデータが得られたか確認するために、検証環境の構築など様々なステップを得てデータ処理のフローを1つ1つ確認が必要。

しかしReckonerなら、画面上にリアルデータで処理結果のプレビューを表示することができ、常に結果を確かめながら操作をすることが可能。



The screenshot shows the Reckoner interface for a 'Salesforce' job. The job status is 'Completed'. The 'Setting' panel on the left shows the following configuration:

- 表示名: Salesforce
- 接続情報: yamana
- 取得方法: subject
- SalesforceオブジェクトAPI参照名: reckoner_it_c

The 'Output' panel on the right displays a table with the following columns: Id, OwnerId, IsDeleted, Name, CreatedDate, and CreatedById. The table contains 14 rows of test data.

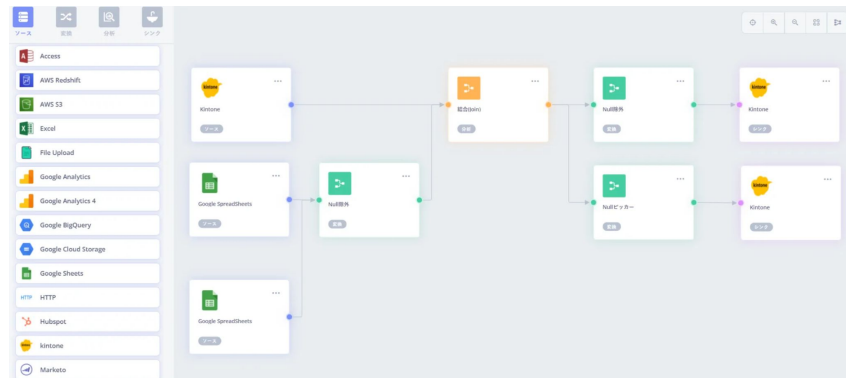
Id	OwnerId	IsDeleted	Name	CreatedDate	CreatedById
a2N0p0000001tyEAA	0052v00000e6AJWAAU	false	<>&,"	2021-12-21T15:14:44Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001ty1EAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_492	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001twzEAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_428	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001ty4EAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_495	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001txLEAQ	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_450	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001txWEAQ	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_461	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001twxEAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_426	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001twIEAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_411	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001txtEAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_484	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001twhEAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_410	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW
a2N0p0000001tx8EAA	0052v00000e6AJWAAU	false	test_name_437	2021-12-21T15:14:36Z	0052v00000e6AJW

SRE(サイト信頼性エンジニアリング)に強い当社スリーシェイクのインフラ環境であり、**別途のETL基盤準備が不要**。つまりデータエンジニアリングをする上で、**可用性やバックアップ・セキュリティ対応などが不要**。
またPreview機能により、**ドライランも実施可能**。



データ連携作業工数を大幅削減

Reckoner(レコナー)はクラウド型 ETL/データパイプラインサービスです。使いやすさを追求し、新たなデータ連携もストレスフリーで行うことが可能です



Thank you.